

経営比較分析表（令和5年度決算）

青森県外ヶ浜町 外ヶ浜中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	ド	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,152	2,710	第1種該当	-	15:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

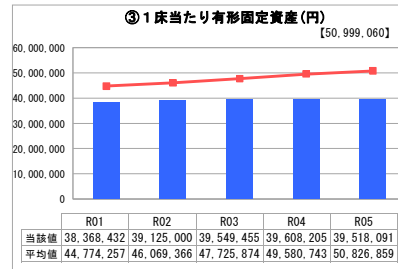
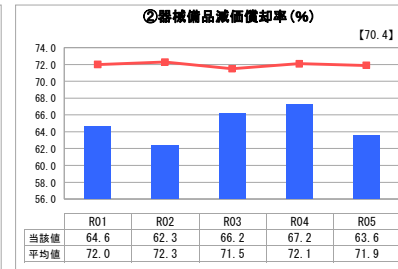
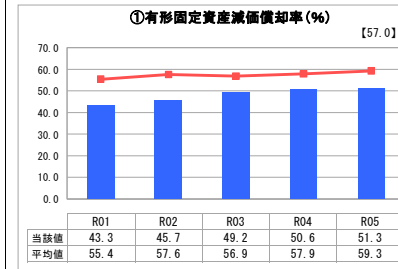
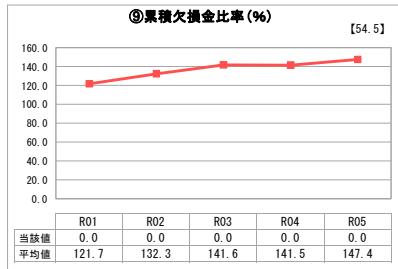
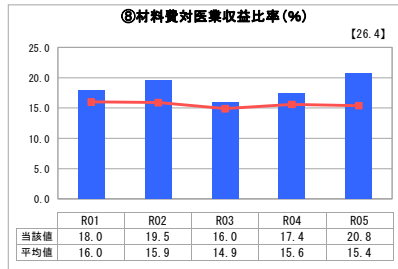
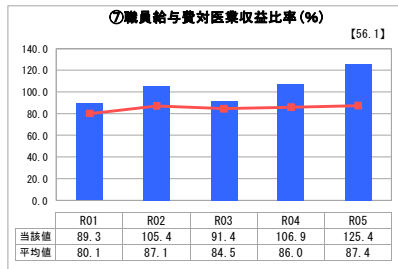
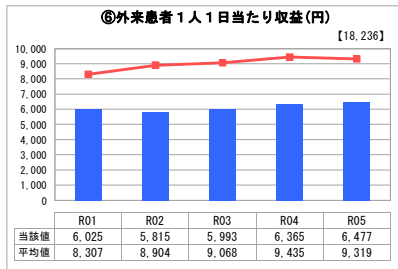
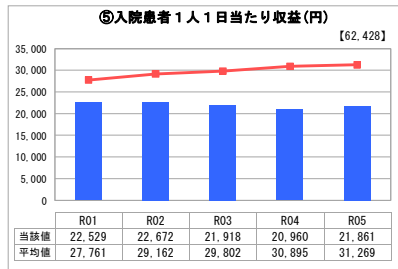
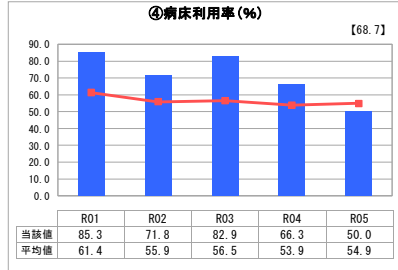
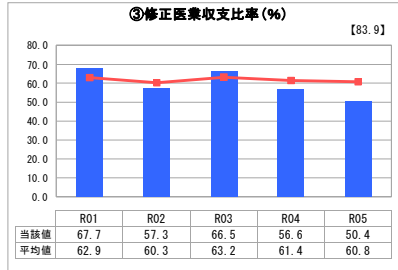
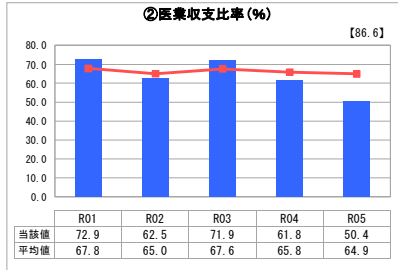
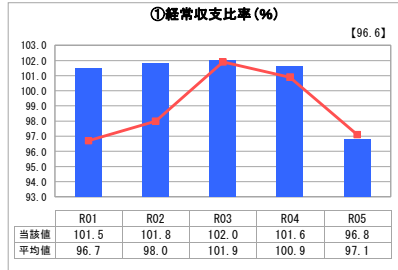
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
44	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	44
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
44	-	44

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

組織分化・連携強化 (業務の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

外ヶ浜中央病院は、青森地域医療圏内において津軽半島北東部の蓬田村以北2町1村を主たる診療域とする地域では唯一のリハビリテーション機能を有する自治体病院として、地域医療の維持確立に欠くことのできない医療機関となっている。

また、当院に併設する介護老人保健施設や診療圏域内の特別養護老人ホームやグループホーム等に対し、定期的な往・回診を実施する等、地域の福祉施設との連携を図り、医療から介護、健康管理に至るまでの地域包括ケアシステム構築及びその推進のための中心的役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

従前からの少子高齢化等の要因に加え、令和5年度以降は常勤医師の退職等により常勤医師が半減し、許可病床数44床のうち16床を休床。救急医療の休止を含めた医療提供体制の縮小に踏み切らざるを得ない状況となり、医療収益の大幅な減収の要因となった一方で、職員平均年齢上昇による給与費及び病棟の移転新築を延期したことによる現存老朽化設備修繕等経費が医療収支比率、修正医療収支比率を悪化させており、基準額を遵守した一般会計繰入金確保しているものの、100%超えの経常収支比率の維持は困難となり全国平均を下回った。

前述事由による病床休床により病床利用率も類同・全国平均を下回る水準であり医療収益が減少しているため、医療収益に対する職員給与費及び材料費の比率が類同・全国平均を上回っている状況を踏まえ、先ずは病床機能・規模の見直し、他医療機関との連携強化及び薬品費・診療材料費の購入価格抑制等への取組みと増収対策が必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類同・全国平均を下回っているものの、近年増加傾向にあり、令和4年度末においては50%を超え、法定耐用年数に近づきつつある。

このうち器械備品分については安全で良質な地域医療を提供するため、各種交付金や助成金を活用し、老朽度合い、修繕頻度及び法定耐用年数等を総合的に鑑み、計画的な更新投資を行ってきた結果、類同・全国平均を大きく下回っている。

また、1床当たりの有形固定資産額も類同・全国平均を下回っていることから、これまでの資産取得への投資規模は適正であったものと思われる。

全体総括

人口減少や患者の高齢化等により、医療収益の減収に歯止めがかからない一方で、平均年齢上昇による職員給与費及び施設・設備の老朽化やエネルギーコストの高騰による維持管理費の高止まりにより、財源不足額が年々拡大し、これを補てんする一般会計繰入金が増加傾向にある。こうした脆弱な経営基盤であっても津軽半島北東部の中核病院として、その責務や役割を果たしつつ、安全且つ良質な地域医療の提供及び地域包括ケアシステムを推進し続けるとともに持続可能な経営基盤を構築するためには「公立病院経営強化プラン」に則り、現行体制や既存方針等に固執することなく、常に不断の見直しを行い、経営の強化に努めることとする。

また、令和6年4月からは基幹病院及び連携病院から更なる応援委医師の派遣を受け整形外科診療も再開した為、外来診療及びリハビリテーションでの増収を目指す。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。